

正 誤 表

資料	章	頁	行	項目番号等	誤	正	備考
(その1)	1. 標準項目及び本資料で～	2	5行目	○底質	:汚染底質の掘削等に係る底質汚染	:汚染底質の掘削等に係る底質	(削除)
	2. 大気質	28	図-2.2.2中	真中の列	拡散式による基準濃度の計算 有風時:ブルーム式 出現割合弱風時:パフ式	拡散式による基準濃度の計算 有風時:ブルーム式 弱風時:パフ式	(削除)
		49	*30 4行目	式(解説2.12)	$B = \int_0^L f(x) dx \bigg/ Q$	$B = Q \bigg/ \int_0^L f(x) dx$	(分子と分母が逆)
		58	表-2.20 の注	注 なお書き	…本表は「窒素酸化物総量規制マニュアル[増補改訂版]」(公害研究対策センター、1993)に掲載されているものであるが、ここではこの表の～	…本表は「窒素酸化物総量規制マニュアル[増補改訂版]」(公害研究対策センター、1993)に掲載されているものであるが、ここではこの表の～	(削除)
		59	*45 最下行	*45「予測に用いる拡散幅」①式(解説2.37)	$\gamma_y (X + X_0)^{\alpha z}$	$\gamma_z (X + X_0)^{\alpha z}$	(誤字)
		61	表-2.23 中の右最 下段	E/F欄 鉛直方向の拡散幅 $\sigma_z(m)$	$0.08x(1+0.00015x)^{-1/2}$	$0.08x(1+0.0015x)^{-1/2}$	(誤字)
		85	【解説】 5行目	1)項目の選定に係る事業特性	(「2.3.3 地域特性の把握」で把握する)	(「2.3.2 地域特性の把握」で把握する)	(誤字)
		100	*5 4行目	*5「その数」	…ユニットの日当り施工能力を設定については、以下の方法がある。	…ユニットの日当り施工能力の設定については、以下の方法がある。	(誤字)
		101	*6	*6「季節別にユニットの配置に応じて設定」②題名	季節別の施工範囲が工事の延長の一部分である場合	季節別の施工範囲が工事の区分の延長の一部分である場合	(誤字)
		101	*6 ② 最下行	図-2.40の表題	季節別の施工範囲が工事の延長の一部分である場合	季節別の施工範囲が工事の区分の延長の一部分である場合	(誤字)
		105	表-2.37 中	「掘削工(トンネル)」の欄の係数	a… 150 c… 1.3	a… 100 c… 1.2	(誤字)

資料	章	頁	行	項目番号等	誤	正	備考
		113	2.4 3～6行	2.4	〈改行のずれ〉		
		115	【解説】 5行目	1)項目の選定に 係る事業特性	…〔2.4.3 地域特性の把握〕で把握する)～	…〔2.4.2 地域特性の把握〕で把握する)～	(誤字)
		152	4行目	式(解説2.47)	$Q_i = (P_i \times PM_i) \times Br / b$	$Q_i = (P_i \times PM) \times Br / b$	(が不要)
		156	表-2.53 中	「環境保全措置の 効果」の欄	…採用により、排出ガス非対策型建設機械に比べ 窒素酸化物で40%、～	…採用により、排出ガス非対策型建設機械に比べ 窒素酸化物で40%、～	(誤字)
		162	図-2.51 中	「2.6.3 項目の追 加」の欄	〈文章を全て修正〉	環境影響を受けるおそれがあると認められる地域内 に住居等の保安対象が存在するか、又は都市計画 上、土地利用上から将来の立地が計画されており、 当該地域における二酸化窒素(又は浮遊粒子状物 質)の現況濃度が環境基準を超過している等高い場 合で、長期間にわたり工事による影響が及ぶ可能性 がある場合	(修正もれ)
		167	*2 最下行	【解説】 *2	「2.5.3 項目の追加」*3を参照のこと。	「2.5.3 項目の追加」*2を参照のこと。	(誤字)
		175	【解説】 5行目	引用文献の数字	8)	1)	(誤字)
	3. 風害	190	*1 最下行	*1「基準又は目標」	…もので、表-3.3に示す～	…もので、表-3.2に示す～	(誤字)
(その2)	4. 騒音	65	最下行	【解説】 *11「環境 保全措置」のア 文章中 4.2.8 2)	$\Delta D1$ と $\Delta D2$ はそれぞれ…	$\Delta D1$ (dB)と $\Delta D2$ (dB)はそれぞれ…	(単位)
		68	破線枠内 最下行	4.2.8 2)	…調査及び予測との結果とに間に整合が図られて いるかどうかを～	…調査及び予測との結果との間に整合が図られて いるかどうかを～	(誤字)
	6. 振動	129 ～ 130	最下行～ 1行目	【解説】 1)	〈文章の重複〉	〈130頁の1行目をすべて削除〉	(削除)
		150	図-6.13 中	「6.3.7 環境保全 措置の検討」③	…措置後の環境の状況の變化及びそれに伴う環 境への～	…措置後の環境の状況の變化及びそれに伴う環 境への～	(削除)
		160	最下行	*3「環境保全措置 の効果」の文章	「6.2.7 環境保全措置の効果」*3を参照のこと。	「6.2.7 環境保全措置の検討」*3を参照のこと。	(誤字)
(その3)	7. 水質	14	表-7.6中		化学的酸素要求量(COD)	化学的酸素要求量(COD)	(削除)

資料	草	頁	行	項目番号等	誤	正	備考
		16	破線枠内 4行目	7.1.8 1)	…検討を行った場合には～	…検討を行った場合には～	(削除)
		25	破線枠内 5行目	7.2.4 1)(1)	…全機の環壁基準について～	…全機の環壁基準について～	(誤字)
	8. 底質	46	破線枠内 8行目	8.1.4 2)	…環水管第120号)等を～	…環水管第127号)等を～	(誤字)
	12. 日照障害	155	*3 1行目	*3「事後調査を検 討」	…予測の手法 *4「予測の不確実性」で述べた～	…予測の手法 *5「予測の不確実性」で述べた～	(誤字)
		158	最下行	表-12.4の(注)2.	土地に定着する工作物にうち、～	土地に定着する工作物のうち、～	(誤字)
		159	1行目	表-12.4の(注)2.	…これに付属する門若しくは～	…これに附属する門若しくは～	(誤字)
(その4)	13. 動物、植 物、生態系	70	下から5 行目	引用文献 5)	環境庁企画企画調整局(編):自然環境～	環境庁企画調整局(編):自然環境～	(削除)
	14. 景観	101	破線枠内 5行目	14.1.1 2)	対象道路事業に係る構造の区分(道路構造令～	対象道路事業に係る道路の区分(道路構造令～	(誤字)
		136	破線枠内 7行目	14.2.7 1)	…配慮が適正になされるかどうかについて、～	…配慮が適正になされるかどうかについて、～	(誤字)
	15. 人と自然 との触れ合い の活動の場	157	表-15.4 中	「環境保全措置の 例」の列の最初の 欄	のり面勾配の修正(擁壁構造の併用等)による地形 変更の最小化	のり面勾配の修正(擁壁構造の併用等)による地形 変更の最小化	(誤字)
		158	4行目	*1「環境保全措置」 1) (1)	…のり面勾配の修正(擁壁構造の採用等)により～	…のり面勾配の修正(擁壁構造の併用等)により～	(誤字)
		158	7行目	*1「環境保全措置」 1) (1)	ただし擁壁構造等の採用にあたっては、～	ただし擁壁構造等の併用にあたっては、～	(誤字)
		164	*1 1行目	*1「入手可能な最 新の文献」	…の表-15.1(地域特性の把握に用いる文献資料の 例)を参照のこと。	…の表-15.1(地域特性の項目と資料の例)を参照の こと。	(誤字)
		166	破線枠内 2行目	15.2.4	15.1.4-1 調査の手法	15.2.4-1 調査の手法	(誤字)